

平成29年  
第3回  
定例会



# ひらない 議会だより

第193号

平成29年10月25日発行  
青森県平内町議会

優勝  
おめでとうー  
西平内中バレー部!

平成28年度決算認定 .....	2~7
平成29年度補正予算 .....	8~10
一般質問（6人登壇） .....	13~19
議会報告会の開催 決まる .....	21
追跡 あの質問はどうなった? .....	22
サークル紹介	
子ども議会 .....	23

東郡中体連秋季大会

蓬田中学校体育館に於いて  
9月16日



## 平成28年度

# 一般会計 特別会計 決算を認定

平成29年第3回定例会を9月8日から15日までの8日間の会期で開催しました。

平成28年度一般会計・10特別会計決算のほか平成29年度の一般会計・各特別会計補正予算案、人

事案件など21件が町長から提出されました。

審議の結果、いずれも原案のとおり「認定」「可決」「同意」しました。

## 会計別の決算額

(万単位で端数処理しています)

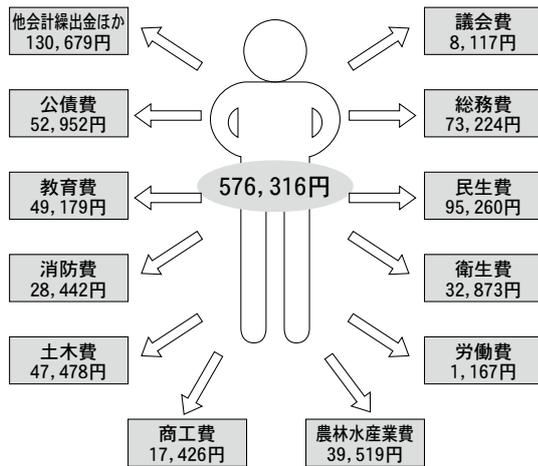
一般会計は、歳入合計66億8157万円（前年度比2.6%増）歳出合計64億2132万円（前年度比0.4%増）となりました。残額2億6025万円は繰越明許費の一般財源分1億4849万円を差し引いた残額1億1176万円のうち、公共施設等整備基金へ6000万円を積立し、残額5176万円を平成29年度に繰越しました。

### ※ 繰越明許費とは

歳出予算の経費のうち、その性質上または予算成立後の事由により、当該年度内に支出を終わらない見込みがあるものについて、予算の定めるところにより、翌年度に限り繰越して使用することができるものをいう。

一 般 会 計		歳入	66億8157万円	
		歳出	64億2132万円	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	歳入	23億820万円	
		歳出	22億2558万円	
	平内中央 病院事業	収益的収支	歳入	13億6716万円
			歳出	13億1191万円
		資本的収支	歳入	1億5800万円
			歳出	2億2018万円
	水 道 事 業	収益的収支	歳入	3億2278万円
			歳出	2億3298万円
		資本的収支	歳入	3439万円
			歳出	2億430万円
特 殊 索 道 事 業	歳入	1809万円		
	歳出	1799万円		
農 業 集 落 排 水 事 業	歳入	1億3106万円		
	歳出	1億3050万円		
漁業集落環境整備事業	歳入	1億8985万円		
	歳出	1億8942万円		
公共用地先行取得事業	歳入	972円		
	歳出	972円		
公 共 下 水 道 事 業	歳入	3億7744万円		
	歳出	3億7665万円		
介 護 保 険	歳入	12億4477万円		
	歳出	12億1646万円		
後 期 高 齢 者 医 療	歳入	2億9727万円		
	歳出	2億9654万円		

町民(11,142人)一人当たりの一般会計状況  
(人口はH27国勢調査)



◆基金(積立金)の総額

(万単位で端数処理しています)

基金名	平成28年度末残高
財政調整基金	4億5153万円
減債基金	1億96万円
地域づくり特別事業基金	8366万円
公共施設等整備基金	5億143万円
地域福祉基金	2828万円
土地開発基金	1億8016万円
ふるさと・水と土保全対策基金	25万円
下水道事業債償還基金	369万円
合計	13億4996万円

◆借入金の総額

(万単位で端数処理しています)

地方債(借入金)	平成28年度末残高
公共事業等借入金	5億4277万円
一般単独事業借入金	2億7859万円
学校教育施設整備等事業借入金	1億2117万円
辺地対策事業借入金	1億8568万円
災害復旧事業借入金	2534万円
一般廃棄物処理事業借入金	2640万円
厚生福祉施設整備事業借入金	0円
県借入金	0円
臨時財政対策借入金	25億6133万円
過疎対策事業借入金	8億4078万円
その他	7億3891万円
合計	53億2097万円

(借入金の償還については、地方交付税に入ってくるものもあります)

(万単位で端数処理しています)

企業債(借入金)	平成28年度末残高
病院事業借入金	16億4507万円
水道事業借入金	16億8323万円
農業集落排水事業借入金	8億2705万円
漁業集落環境整備事業借入金	8億3676万円
公共下水道事業借入金	21億3211万円
合計	71億2422万円

平成28年度決算に係る  
健全化判断比率・資金不足比率

健全化判断比率

比率の名称	当町の比率	早期健全化基準
実質赤字比率	-	15%
連結実質赤字比率	-	20%
実質公債費比率	9.9%	25%
将来負担比率	70.1%	350%

資金不足比率

比率の名称	当町の比率	経営健全化基準
水道事業会計	-	20%
病院事業会計	-	20%
公共下水道事業	-	20%
農業集落排水事業	-	20%
漁業集落環境整備事業	-	20%
特殊索道事業	-	20%

当町は、いずれも基準を下回っています。  
早期健全化基準を上回るとさまざまな制約が発生します。

<実質赤字比率とは>

一般会計等の赤字額を指標化

<連結実質赤字比率とは>

全ての会計の赤字を合算し、町全体の赤字額を指標化

<実質公債費比率とは>

借入金の返金額の大きさを指標化

<将来負担比率とは>

借入金や将来支払うことになる負担の現時点での残高を指標化

<資金不足比率とは>

公営企業の資金不足を、事業規模である料金収入と比較して経営の深刻度を示した比率

# 決算

## 審査



副委員長  
亀田弘徳



委員長  
七尾 潔

決算特別委員長に七尾潔委員を、副委員長には亀田弘徳委員を選任し、9月12・13日の日程で、平成28年度一般会計ほか10特別会計の決算を集中審議しました。

決算審査は予算が目的に従って、適正に効率的に執行されたか、それによってどのように行政効果が発揮できたか、今後の行政運営にどのような改善工夫がなされるべきであるかを審議する場です。

## 適正に使われたか 今後はどう活かすか

### 一般会計

#### 歳入

##### ▼固定資産税の滞納には

**田中茂勝委員** 固定資産税の欠損額が多いのは町内または町外居住者なのか。納付依頼や収納方法はどのようにおこなっているのか。

**税務課長** ほとんどは町内の方である。不納欠損の内訳は時効分が83件で537万円余り。処分停止、生活保護者の54件で108万円。

徴収方法は基本的に国保税が先で、次に町税の住民税、固定資産税、軽自動車税の順なので固定資産税の徴収率が低下している。未納分の差し押さえは町と県の滞納整理機構に移管し、おこなっている。



##### ▼滞納整理機構の実績は

**田中光弘委員** 個人住民税の滞納繰越分が前年度より470万円ほど少ないのは、それだけ解消したことが、滞納繰越分の件数で滞納整理機構に移管した件数と税額は。また、徴収した件数と税額はいくらになるか。

**税務課長** 滞納整理機構に年間で12件ほどお願いし、徴収実績は260万円余りである。住民税に関らず、固定資産税と軽自動車税分も含まれての件数である。

##### ▼事業内容は

**田中茂勝委員** 「青森県未来を変える元気事業」の事業内容を示してほしい。

**企画政策課長** 夏泊半島のPR事業等にあてている。



向川橋拡幅工事 29年度中に実施します

##### ▼内童子向川橋の拡幅計画は

**亀田弘徳委員** 災害復旧費国庫負担金に関連するが、内童子の川のコンクリートの護岸は直っていたが、橋は現在も既設のまま。拡幅するのか。

**地域整備課長** 災害復旧は昨年度末で完了した。橋の拡幅工事は今年度中に完了したい。

**亀田弘徳委員** 国の予算でおこなうのか。

**地域整備課長** 橋の拡幅は小湊～外童子線改良工事の一貫としておこなっているの、町単独の工事費として実施する予定である。

## 歳出

### ▼交際費の支給要綱の遵守を

**太田満則委員** 28年度の12月に交際費の支給要綱ができた。

町長の交際費関係で、盛花10件のうち6月から支給要綱前が7件、要綱後の3件は何の品目で支払いしたのか。

**総務課長** いずれも要綱前の需要費から支出している。



**太田満則委員** 要綱を作った意味がないではないか。需要費の消耗品費の支払いではまずいので交際費の支給要綱を策定したのではないかな。なぜ、要綱どおり実施しないのか。

**総務課長** 29年度からは交際費で支出している。

**太田満則委員** 現在、インターネットで交際費の内訳を公表しているが、要綱どおりに処理すべきだ。

**総務課長** 要綱の策定を告知したが、予算に関しては29年度から執行することになっていた。



松野木字家岸

小湊字後苑

### ▼空き家バンクに2件登録

**田中光弘委員** 空き家調査業務委託の調査結果はどうか。

**企画政策課長** 行政協力委員にお願いした空き家のデータを基に委託会社に使えるか否か、さらに所有者の調査をしてもらった。また、県外の所有者には納税切符を送る時に一緒に通知も入れ、制度の内容もお知らせした。知らせを受けた方々から問い合わせも結構あり、4月1日からバンクを開始した。

**田中光弘委員** 2件の家がホームページに載っているが、増える可能性があるのか。

**企画政策課長** 現在2件登録されているが、抵当権を審査しての結果なので増えていくと思われる。

### ▼情報発信・ホームページの充実を

**田中光弘委員** ホームページがリニューアルで充実してきている。しかし、更新すべき点がある。

例えば町営住宅情報では平成23年4月1日現在で、藤沢町営住宅が古い建物のままだ。一刻も早く更新すべきだ。

**企画政策課長** 28年度に刷新した。運用基準がすべて企画政策課で更新や承認をしていたが、今後は担当課で更新するようにしたい。

**町長** せっかくりニューアルしたので、最新の情報を掲載するように、各課で進めさせていきたい。

## 【年表】

西暦	年号	主な出来
2001	平成13	2010年) 制定。 ●4月 青森市、奥平、平内町の併せて「森林組合あおむら小湊小学校」との設置 ●5月 夜越山オートキャンプ場、ティセーター、平内町消防機械器具農協の合同落成 ●6月 映画制作開始(講演企業)。 ●7月 「白鳥おぼさん」こと松川小湊川(ひだまり公園)設置 ●8月 首飾地区で廃棄物分別収集小湊中学校委託部が東北学生会館整備。 ●11月 加藤哲朗氏準賞受賞。 ●12月 稲川亨(21)(東滝)プロイオンズ入団(背番号47)
2002	14	●4月 介護予防拠点整備事業にかい「工原平内」開設。 ●5月 北方4島とのビザなし化アライメント(6人)実施。 ●8月 小湊地区で廃棄物分別収集平内町交番さん委員会(鬼柳憲昭氏ほか9名)。 ●10月 青森市との市町村合併関係協議会開催(清水川コエミセ、観光センター)。 町道開通・松野木線の開通。 平内親心会が文部科学大臣賞受賞。 ●11月 青森市との市町村合併関係協議会開催(松野木線)。 ●12月 青森地域広域事務組合(中野清輝工場) 廃止。 東田地区地産地消推進事業

### ▼町紹介の要覧内容は的確に

**太田満則委員** 町勢要覧の年表には疑問だ。例えば、町長、助役、収入役、教育長名が付いている人もあるし、付いていない人もある。町や県から頂いた褒賞者も同様である。また誤字もある。140万円掛けたにしては、年表に関してはお粗末ではないか。

**企画政策課長** 年表は今回初めて掲載したのではなく、添削しながら新しいものを増やしているが、今後は重く受け止め対処したい。

**太田満則委員** 今回作ってしまって直すとなれば、なかなか大変だが、インターネットに載っているのはどうなのか。今後は意識をしてあたってほしい。

**企画政策課長** 指摘の件には注意しておこなっていききたい。



### ▼椿山ビーチハウスの修繕化へ

**田中茂勝委員** 昨年、椿山の海水浴場にあるビーチハウスの修理に対して、県に働きかけていくとのことだったが、その後の経緯を知らせよ。

**水産商工観光課長** 県担当課から派遣された業者が見積りをおこなったので来年度の予算化に期待している。

### ▼高校卒業まで医療費無料化拡大を

**田中光弘委員** 乳幼児・子どもの医療給付費が192万2891円の不用額が生じているが、要因の説明を。

**健康増進課長** 平成28年度は例年になく、インフルエンザにかかる乳幼児、子どもが少なかったためだと思われる。

**田中光弘委員** 全国的に高校卒業までの医療費無料化が拡大されている。前回の質問には「27年度試算では540万円の増額になるので、財政状況を見極め検討したい」との見解だったが、早期に実施すべきだ。

**健康増進課長** 検討はしているが、保育料無料化の兼ね合いもあるので検討課題としたい。



### 小学校就学援助

#### ▼入学準備金は入学前に支給を

**田中光弘委員** 要・準要保護児童就学援助で、今年から中学生の入学準備金が6月から入学前支給となった。小学校入学準備金も中学生同様にすべきだ。それが活きたお金の使い方だ。

**学校教育課長** 小学校入学時期の支給時期を3月に改正すると、幼稚園、保育園などの関係機関の協力が必要だが再度検討したい。

## 平成28年度一般会計認定には

チェック機能を果たすためにも **反対**

### 太田 満則 議員

交際費支出基準の要綱を、平成28年12月28日第70号で告示したにも係わらず、恣意的な運用を続け議員及び町褒賞受賞者など本来対象となるべき対象者への盛花を上げなかったほか、逆に要綱に記載されていない人への盛花料が複数回、消耗品費から支出されていた。指摘に際し対象者への返答はなく、交際費からの支出は新年度、つまり29年度から実施している。これは明らかに町財務規則違反であり認められない。更に宗教団体への支出もあり、憲法違反の疑いがありこれも認められない。

又、公用車運用について、火葬場・通夜会場・個人事務所等への移動に頻繁に使用している。一方町民の要望等については予算がない・お金がない。法律或いは条例・規則にないからと云って断っているのに、自分には甘く、自らが決めたものに違反している。地方自治は二元代表制によって構成されており、良識に従い議会の本分であるチェック機能を果たす意味で反対する。

安定した財政運営を評価し **賛成**

### 工藤 眞一 議員

決算認定を含む各委員会にあっては、本会議場で多数の議案を効率的に処理することが困難なことから、それを補完するために、今回、議員全員で組織する決算特別委員会を設置している。

委員長報告のとおり、採決の結果、可決すべきものと決定した以上は尊重されなければならない。

決算では歳入にあっては、154節、歳出は670節すべて納得するのは不可能に近い。

注視すべきは財務状況で、実質単年度収支は3年連続の黒字で、安定した財政運営となっている。

監査委員が提出した、歳入歳出決算及び基金運用状況の審査意見書のとおり賛成する。

# 特別会計

## 国民健康保険 平内中央病院事業会計



リハビリに力を入れています

### ▼給与費減額の要因は

**工藤眞一委員** 給与費が前年度より3000万円ほど減った要因は。

**病院事務局長** 職員数はさほど変わらないが、定年退職者と若い人の採用との差額とパート医師の減によるものである。

### ▼経営は好転したのか

**工藤眞一委員** これまで、一般会計から特別利益に1億5000万円ずつ繰り入れしてきたが、28年度は逆に5190万円ほどの剰余金になった。事業が好転したように思うが。

**病院事務局長** 資金的なものを含め、病院会計の27年度と28年度の対比では収支改善額で約8800万円の増である。26年度から27年度では9100万円ほど収支改善され、2年で約1億8000万円が収支改善である。一般会計からの繰入金も2年で1億5800万円の特別利益の分は頂かなくても良くなった。



### ▼医師確保には予算計上を

**畑井勝廣委員** 経済文教常任委員会の視察先（20ページ参照）では医師確保のために予算を計上していた。当町も病院会計に予算を計上し、医師確保に力を入れるべきだ。

**町長** 9月22日に医師確保のために、病院管理者・スタッフと共に県健康福祉部長へ要望に行く。

### ▼福利厚生の充実を

**佐々木徳正委員** 視察先では職員の質を高めるために環境づくりに力を入れていた。当病院においてもプレッシャーがあると思うので息抜きの場も必要ではないか。職員は職務に励んでいるので福利厚生を充実させるべきではないか。

### ▼診療拒否は医療法違反ではないか

**太田満則委員** 「救急車で病院に運ばれたら、もうあなたは診ないよ。この次に救急車で来ても診ないから他の病院に行って」と先日、診療拒否された方から相談があった。

診療拒否となれば医療法違反だ。病院は命を繋ぐ場で救急の時はどうしても行かなければならない。町の中核病院なので信頼される病院になっていただきたい。

**病院事務局長** 診療拒否との指摘には真摯に受け止め、病院のスタッフ、医師を含めて応召義務を徹底したい。



命綱の救急車

### ▼ホームページの更新を

**太田満則委員** ホームページの医療安全管理室の項目で、去年から更新されていない。退職した人の名前も並んでいる。更新すべきだ。

**病院事務局長** 新しいホームページを今年度で作成する。その間にも更新をしたい。

## 常勤医師一覧表

管理 者 長  
院 長  
(外科医師)

首藤 邦昭

(以下省略)

### ▼病院管理者と事業管理者

**太田満則委員** 常勤医師一覧表に管理者は院長名が載っている。新しく病院管理者を作ったのか。

**病院事務局長** 病院の管理者は院長で、病院運営の事業管理者は竹内事業管理者である。

**太田満則委員** 事業管理者と医師管理者とは違うとのことだが、紛らわしい標記ではないか。

**病院事務局長** 昨年、保健所からの指導により明記している。

# 補正 予算

平成29年度 一般会計

ホタテ 全自動耳吊り機 補助金など  
洋上洗浄機

1億3628万円を増額

総額67億9175万円

## 主な歳入

(万単位で端数処理しています)

地方交付税	1829万円	
県支出金	9159万円	全自動耳吊り機20基と洋上洗浄機20基、1億8000万円の半額を国から県、町を通し漁協へ
諸収入	△2993万円	B&G（プール）修繕等助成金の減額3000万円は2040万円を町で、
町債	2040万円	960万円を借入れて対処
繰越金	3176万円	28年度剰余金の繰越金

## 主な歳出

(万単位で端数処理しています)

水産業強化支援事業費補助金	8956万円	全自動耳吊り機・洋上洗浄機具費（10ページ参照）
道路等修繕費	630万円	町道・数十カ所の修繕 ①
中学校施設維持管理事業	563万円	小湊中・暖房器具7台、西平内中・ストーブ6台 ②
農業用道水路補修事業	313万円	農業用施設修繕費及び測量設計委託料 ③
道路新設改良事業	326万円	小豆沢中野線道路の改良用地測量委託（203万円） ④



町道補修



昨年5台、今年度7台購入



農業用水路測量



小豆沢中野線 用地測量 中野側より

# 常任委員会 Q & A

## 総務福祉常任委員会



### 町褒賞要綱基準の改正内容は

- Q** 町最高の賞である褒賞の要綱基準の改正内容を示せよ。
- A** 現行基準では今後該当者が出にくいとのことで、今年6月5日に青森市の基準を参考に見直しをおこなった。行政協力委員、民生委員、児童委員、保護司はこれまでの25年以上だったのを20年以上に改正した。また、消防の団長経歴が15年以上であったのを、団長、副団長及び分団長の経歴を通算して15年以上とした。
- Q** 前基準で申請に漏れた方が、新基準で該当になるなら改めて申請することができるのか。いつから新基準でおこなうのか。
- A** 6月20日の告示以降である。



デイサービスセンター  
西の家

### スプリンクラーの設置場所は

- Q** 介護保険特別会計補正予算の補助金で、どこの施設にスプリンクラーを設置するのか。
- A** 小豆沢地区の「西の家」である。

### 講師謝礼金の増額理由は

- Q** 講師謝礼金を増額する理由は。
- A** 介護予防教室の講師分で、当初予算の3時間1000円では少ないので3000円にした。

## 経済文教常任委員会



先進地の女川町施設

### グルメエリア 運営方針は

- Q** ほたて広場のグルメエリアの設計は職員の視察段階で完成していたのか。
- A** 設計は終わっていたが、視察先は施設の保守、運営面等で先進的なことから参考になる事例がたくさんあった。
- Q** 店舗の中身、方向性についてはどうか。
- A** 公募で1社が来ているが、プロポーザルなので比較するために新聞で2次募集をしている。基本的には、活御膳が冬期間提供できなかったことから、ホタテグルメに関するコーナーを中心に、プロデューサーは15品程のメニューを考えているようだ。
- 特徴的なのはカキ小屋風のお好み焼き台のコーナーに30席ほど、40席の食事コーナー、起業希望者に3坪3区画の場を提供する予定である。
- Q** 昨年はほたて広場の営業期間中にホタテの在庫がなくなったが、漁協との協議結果はどうか。
- A** 漁協の理事会や総会でも話題になったようだ。町からも直接、組合長にお願いしている。自然に左右され、量的に制約される可能性があるが、組合一丸となり、最大限提供するとのことである。

### 「なべ自慢」出店品 10月に試作

- Q** 「なべ自慢」の詳細の説明を。
- A** 南部町で地産地消・食育の推進でイベントを開催し、去年は23市町村の参加で来場者数は5000人ほどであった。当町では去年からの参加で、漁協さんをお願いし、出店してもらったが時期的に忙しいということなので農協さんをお願いしている。
- 300食1個300円で出店することになっている。

Q 食材は何を考えているのか。好評であるなら、将来はほたて広場での開催へ繋げていくことも考えていくべきだ。

A 思案中だが、特産品のホタテを利用したホタテ汁を考えている。10月に試作の予定である。



昨年の食推進イベント 南部町

効率が良い全自動耳吊り機



補助申請は漁協しだい

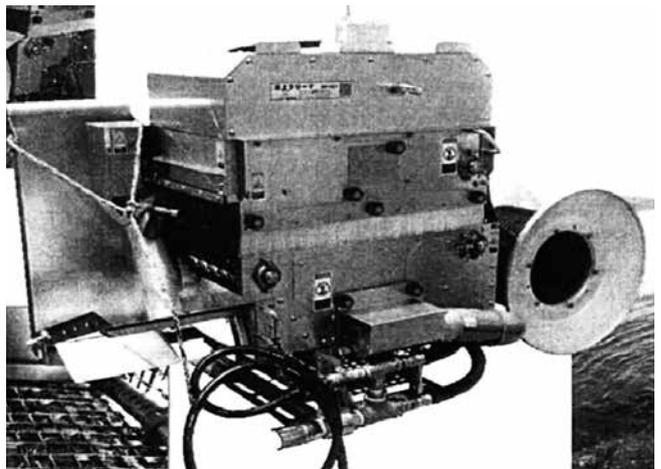
Q 産地水産業強化支援事業の半額が県経由の補助金と漁協の負担金であるが、購入台数と今後も継続していくのか。

A 船上で、籠の洗浄する洋上洗浄機が20台。陸上で処分する残渣の減少を目的にしている。

全自動耳吊り機20台。残渣の少量化に向けて籠養殖から耳吊り養殖への割合を多くするためである。

平成25年度に洋上洗浄機23台、26年度に自動耳吊り機34台を導入している。

陸上の残渣減に有効な洋上洗浄機



漁協の負担金が半額なので、漁協の予算の兼ね合いによる申請になると思う。

漁業者バンクの探究を

意見・要望 作業の軽減には良いことだ。

組合員には後継者難や繁忙期に手伝い人を確保できないなど、廃業増加の恐れがある。

将来に向け、漁業者バンクによる県内外の登録者を募るなど、定住・移住の受け入れを探求していくべきだ。

## 特別会計

(万単位で端数処理しています)

会計名	補正額	備考	補正後の額
国民健康保険	8 2 6 1 万円	基金積立金、諸支出金	2 3 億 9 9 8 1 万円
特殊索道事業	2 万円		2 3 5 2 万円
農業集落排水事業	6 1 万円	浄化槽市町村整備事業	1 億 3 5 3 5 万円
漁業集落環境整備事業	△ 3 9 万円	公債費	2 億 6 7 0 1 万円
公共下水道事業	2 7 万円	建設事業費	3 億 7 8 5 7 万円
介護保険	3 6 1 9 万円	基金積立金、地域支援	1 3 億 6 1 3 3 万円
後期高齢者医療	7 3 万円	一般会計繰出金	3 億 7 5 万円

# 人事

## 教育委員



今 芳廣氏

平成29年10月24日で任期満了の今芳廣氏（66）（小豆沢字小豆沢10番地）を再任したいとの町長からの提案に対し、適任者と認め満場一致で再任に同意しました。教育委員としてのご活躍を期待します。

## 固定資産評価審査委員



三津谷武志氏

平成29年10月24日で任期満了の三津谷武志氏（67）（小湊字雷電際13番地71）を再任したいとの町長からの提案に対し、適任者と認め満場一致で再任に同意しました。固定資産税評価審査委員としてのご活躍を期待します。

## 第1回臨時会



イメージ図

## 来春3月オープンに向け 飲食用店舗 **グルメエリア** 新築工事へ

### 全議員の賛成で議決

8月7日に（仮称）ほたて広場グルメエリア新築工事の請負契約に係る臨時会が開催されました。

新たな飲食用店舗の建設として、7月26日に9社による指名競争入札で株式会社大坂組が落札し、請負代金1億7042万4000円（落札金1億5780万円＋消費税及び地方消費税額1262万4000円）で仮契約をしていました。

工事概要は店舗の延床面積431.23平方メートルの木造平屋建てで、建築工事のほか厨房などの機械設備や電気工事などで、平成30年3月20日の完成を予定しています。

全議員の賛成で議決しました。

### 株式会社大坂組 **落札**

入札指名業者名	第1回金額	
(株) 大坂組	1億5780万円	落札
丸喜(株)齋藤組	1億6080万円	
(株)盛興業社	1億6100万円	
内海工業(株)	1億6100万円	
(株)阿部重組	1億6100万円	
(株)藤本建設	1億6100万円	
(株)福萬組	1億6150万円	
北斗建設(株)	1億6250万円	
(株)鹿内組	1億6270万円	

# ◆ 採 決 結 果 ◆

議長（倉内清一）は採決に加わらない

議案番号	提出議案	議 員 名														
		田中 大	小笠原 智鶴子	亀田 弘徳	田中 茂勝	太田 満則	工藤 眞一	木村 良一	七尾 潔	畑井 勝廣	佐々木 徳正	田中 光弘	三津谷 公雄	船橋 健人		倉内 清一
議案第60号	平成28年度平内町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	認定
議案第61号	平成28年度平内町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	認定
議案第62号	平成28年度平内町国民健康保険平内中央病院事業会計欠損金の処理及び決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	認定
議案第63号	平成28年度平内町水道事業会計利益の処分及び決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	認定
議案第64号	平成28年度平内町特殊索道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	認定
議案第65号	平成28年度平内町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	認定
議案第66号	平成28年度平内町漁業集落環境整備事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	認定
議案第67号	平成28年度平内町公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	認定
議案第68号	平成28年度平内町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	認定
議案第69号	平成28年度平内町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	認定
議案第70号	平成28年度平内町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	認定
議案第71号	平成29年度平内町一般会計補正予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	可決
議案第72号	平成29年度平内町国民健康保険特別会計補正予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	可決
議案第73号	平成29年度平内町特殊索道事業特別会計補正予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	可決
議案第74号	平成29年度平内町農業集落排水事業特別会計補正予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	可決
議案第75号	平成29年度平内町漁業集落環境整備事業特別会計補正予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	可決
議案第76号	平成29年度平内町公共下水道事業特別会計補正予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	可決
議案第77号	平成29年度平内町介護保険特別会計補正予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	可決
議案第78号	平成29年度平内町後期高齢者医療特別会計補正予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	可決
議案第79号	平内町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	同意
議案第80号	平内町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	—	同意

# 一般質問 町政を問う



大盛況でした ほたての祭典 2017

9月17日

一般質問は執行機関に対して議員が町政全般の執行状況や将来の方針など、諸問題の政治姿勢を明らかにするものです。9月定例会では6人の議員が登壇しました。

## 田中 大 議員 ……P14

- 1、管内中学校の統合時期について
- 2、教職員の多忙化解消の取組みについて

## 太田 満 則 議員 ……P15

- 1、ホタテ残渣処理施設について
- 2、交際費の支払先の明示と公用車の運用基準策定について

## 田中 光 弘 議員 ……P16

- 1、町長の政治姿勢について
- 2、ひきこもり対策について
- 3、駅跨線橋について

## 亀田 弘 徳 議員 ……P17

- 1、学校運営協議会制度の導入とコミュニティ・スクールについて
- 2、文化財の保護と管理について

## 小笠原 智 鶴 子 議員 ……P18

- 1、国道4号及び県道夏泊公園線について

## 田中 茂 勝 議員 ……P19

- 1、県立高校再編計画による青森東平内校舎閉校について
- 2、県道夏泊公園線の危険箇所工事への早期着工について
- 3、全国瞬時警報システム（Jアラート）について

※質問は通告順です。次ページからの質問と答弁は紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。



田中 大 議員

# 管内中学校の統合は

## 町長/早い段階で決断する

**田中** 子ども議会や町議会で取り上げられてきた中学校の統合問題は理解しているが、時期は明確に示されていない。統合するのであれば、規模・場所等から見て小湊中学校に統合するのが自然だと考える。しかしながら、小湊中学校の校舎は、既に38年経過し、老朽化が進んでいる状況だ。

先般、『青森県高等学校教育改革推進計画第1期実施計画』が発表され、県立青森東高校平内校舎の平成32年度末閉校が決定した。この結果を受け、管内中学校統合後の校舎として閉校後の平内校舎を活用すべきと考える。

そこで、町長、教育長には県施設の平内校舎を町の施設として譲渡されるよう県教育委員会へ働きかけていただきたい。また、具体的な統合の時期等についても公表すべきと考えるが。

**町長** 児童生徒数は今後とも減っていくのは予想される。また、管内中学校の現状は1学年15人未満の中学校もあり、教育活動や部活動に様々な影響があることは承知している。

小規模校、大規模校はそれぞれに一長一短はある。地域や保護者、将来入学する子ども達の保護者も様々な想いがある。統合を考える際、第一に『子ども達の将来のため』を最優先に考えたい。今後、地域の小中学生保護者、幼児の保護者から広く意見を聞く機会を設け、なるべく早い段階で統合か否かを決断したい。統合と判断した場合には、その時点で時期を公表したい。

平内校舎の譲渡については、現段階で統合問題と閉校後の校舎活用問題を一緒に考えるべきではないと考える。しかし、施設の譲渡については様々な方面に配慮しつつも、県教育委員会への働きかけをしていきたい。

**要望** 町長、教育長は県庁OBであることから、人脈を生かし、よりよい条件での施設譲渡が叶うよう働きかけていただきたい。

西平内中学校



小湊中学校



東平内中学校



## 教職員の多忙化解消の取組みを

**田中** 学校教育では、新たに道徳が正式教科、しかも小学校には英語が導入され、教職員はさらに忙しくなる。子ども達が充実した教育を受け、また、教職員が余裕を持って仕事ができる環境作りが必要ではないか。

教職員が多忙を感じている一番の原因は、部活動指導であると度々報道されている。県内では、学校の運動部活動を地域のスポーツクラブに移行している地域が増えている。当町でも地域のスポーツクラブを立ち上げ学校での部活動を地域で行う形に移行すべきと考えるが。

**教育長** 学校における運動部活動が教職員の多忙化の一番の要因になっているのは、様々なアンケート結果からも承知している。当町においても、校長会等からの聞き取りで、運動部を担当している教職員が多忙であると感じているとの報告であった。このような状況を踏まえ、本年5月に『平内町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会』を設置し、検討を進めている。より早いうちに『総合型地域スポーツクラブ』を立ち上げ、小学校の運動部活動を地域スポーツクラブで実施できるよう体制を整え、教職員の多忙化の解消を図りたい。

**要望** 競技種目の厳選、指導者の問題等課題は多いだろうが、課題を一つ一つクリアし、早期に『総合型地域スポーツクラブ』を立ち上げていただきたい。

# ホタテ残渣処理施設 プロポーザルで業者選定を



太田 満則 議員

町長/株三共刃型工業に期待

## 議会軽視ではないか

**太田** ホタテ残渣処理施設について、議会に提案する前に新聞へ「平内にホタテ残渣施設、大阪の企業・建設計画、道路や水道整備関連2750万円を盛り込む補正予算を提出する予定」と、浜子地区の図面に予定場所が示された記事が載っていた。議会に提案する前だ。議会軽視ではないか。

**町長** 記者から「残渣の補助についてどうなのか」と聞かれ、「活動する場合は、予算計上しなければ動けない」と話をした経緯はあるが、具体的な金額を言った記憶はない。

## 浜子地区説明会の結果は

**太田** 町長は「地域の声は大事にしたい」と述べていたが、浜子地区の説明会の結果はどうであったか。

**町長** 環境悪化の不安・不満が多かったが、再度の公開実験後に改めて説明会を設けたい。

**太田** 予定地は国道に近く、鉄路を隔てた傍に老人介護施設がある。また、多額の投資で整備を進めている「夜越山森林公園」を始めとする、町の重要な観光施設が集まっている近くである。場所としては不適である。

## 業者の選定はプロポーザルで

**太田** 残渣処理業者の選定に当たっては、責任と実績がある会社を選び、プロポーザルで決めべきだと提案したい。疑問が払拭できない三共刃型工業は選定の対象にすべきでない。

浜子地区の説明会でも「納入先は守秘義務を課せられているので公表できない」とか、配布した資料には複合バイオ菌が「生ごみ、木屑、発泡スチロール等」は無害な気体に分解する装置だと書いているが、肝心の残渣物処理の記載はない。パンフレット等にも実社名の記載はできないと書いている。「実績はないが私を信用して」と云っているようなものだ。

これまでの外の沢残渣処理費用は約6億円だが、事業者が言う50億円の施設はどんなものなのか。

**町長** 外の沢の廃棄物処理施設は修繕費増大と処理能力低下により休止している。町外の事業者に処理を委託しているが、昨年委託先の事業社の1社が



休止しているホタテ残渣処理施設（外の沢）

法令違反のため急遽受け入れができなくなった。

新たな施設建設には多額の財源と地域住民の理解が必要であり、当面は町外の維持業者へ処分の委託を考えている。しかし、養殖残渣は一般廃棄物で町内での処理が原則なので、設備投資全額持ちの三共刃型工業の計画には大いに期待をしている。

## 交際費の支払先を明示せよ

**太田** 町長の交際費取扱い基準、公表に関する要綱が公布された。決めた通りに実施すべきだ。

盛花を出すと決めた所に出さず、定めのない複数者に出している。新聞・町報への掲載者は公表すべきだ。また、祭礼行事への支出は公費に求められる公正・中立の観点から不適切だ。

**町長** 神社ではなく、その後の懇親会へ支出した。違反しているとの認識はない。

## 公用車の運用基準の策定を

**太田** 透明性を確保するために、運用基準を策定すべきだ。

**町長** 町車両等管理規定に則っているので運用基準を定める必要はない。

**太田** 公用車は公用・私用の区別を明確にすべきである。公用車での通夜・斎場や個人事務所への出入りも多数回ある。

**町長** 事務所へは、町の施設等の視察途中に立ち寄ることはある。



田中 光弘 議員

## 駅跨線橋階段にスロープを

### 町長/県に要望する



小湊駅跨線橋（上段から）スロープ付きの町外駅

**田中** 電車を利用している年配者から、駅跨線橋の階段の横に穏やかなスロープをつくり、勾配を緩くしてほしいとの要望があった。管内には小湊、西平内、清水川、狩場沢駅があるが見解を伺う。

**町長** 鉄道、駅舎等の施設は県が保有し、青い森鉄道はそれを運用、利用する上下分離方式である。

去る8月2日開催の子ども議会でも、管内駅のトイレ、自転車の駐輪場等の整備を県へ要望していくことにしているので、跨線橋の件も併せ、要望していく。

### 町長の政治姿勢

#### 将来のインフラ整備のためか

**田中** 旧浜子操車場跡地の取付道路工事は将来のインフラ整備のためなら、なぜこれまで当初予算に計上してこなかったのか。

**町長** 企業誘致は現実性に乏しく、優先度が低いので予算計上しなかったが、三共刃型工業の具体的な提案により、町側に、より有利な条件で企業と交渉できるような受入体制を整える必要があると判断した。工事工期を3カ月と見て、降雪前に整備を終えるために6月定例会に予算計上した。

#### 真の設備投資額は

**田中** 私たちへは、ホタテ残渣処理施設の三共刃型工業による設備投資額が50億円との説明だったが、浜子町内会への説明会では社長はかからないと述べたらしいが、実額はどうか。

**町長** 養殖残渣処理事業だけだと約28億円。貝殻

処理リサイクル事業も含めると総事業費が約50億円になると伺っている。

**田中** 会社の事業計画の提出を求める。

#### 納得した要因は

**田中** 会社の設備投資の資金調達に、町長は「最初は二の足を踏んだが、社長の説明で納得した」としているが、納得した要因はなにか。

**町長** 当初、約50億円と聞き、町の年間予算にも匹敵する額であり信じがたい思いもあった。しかし、社長の熱意と公開実験におけるバイオの力に驚き、既存の超える力に感銘した。

### ひきこもり対策を

#### 把握しているか

**田中** 町では「ひきこもり者」を把握しているのか。また、対応はどうしているのか。

**町長** 町でひきこもりの相談があった方や、関係機関から情報提供された方々以外は把握していない。

今後ますます支援が求められるので、広報等での相談窓口の周知や、各種支援制度の周知を継続し、各関係機関と連携しながら支援をおこなっていきたい。

#### 実態を掴む体制を

**田中** 平成27年4月に生活困窮自立支援法の施行後、全国的に実態調査をおこなう自治体が増えている。最優先に実態を掴み、連絡協議会や家庭訪問の体制づくりをしていただきたい。

当町のひきこもり者の家庭が何を望んでいるのか。それに対しての支援策を練ることが、行政として必要ではないか。

**町長** 公にしたくないとの心理が働くのも事実である。そこを無理やり行政がおこなうのはどうかとの話を聞く。難しいことだと思うが、どのようにすれば、把握が十分できるのか、教示をいただきたい。

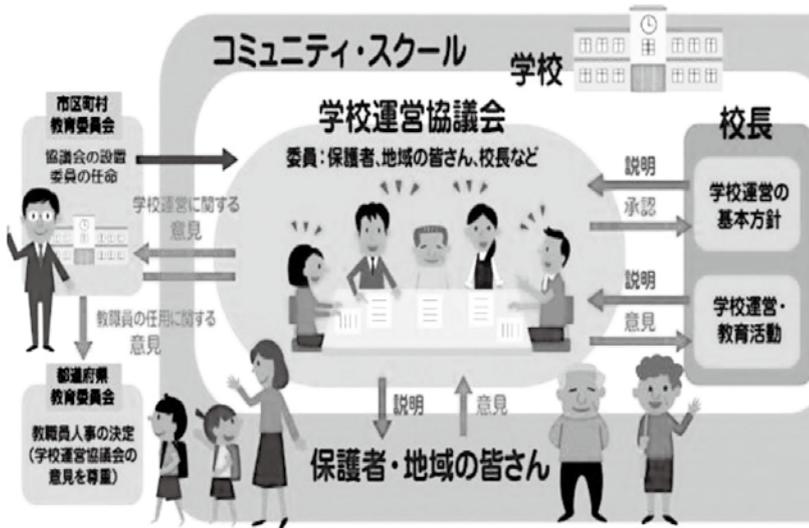
**田中** 秋田県の藤里町が参考になる。

# コミュニティ・スクールを 目指しては



亀田 弘徳 議員

町長/要望があれば対応したい



今後とも学校や家庭、地域の具体的なニーズの把握や幼保小連携事業、小中連携事業との関連性、先進地域の取組等の情報収集に努め、効果的効率的な学校運営を進めたい。

※コミュニティ・スクールとは学校運営協議会を設置した学校のこと。その学校の所在する地域の住民や児童生徒等の保護者で構成される委員がその学校の運営に関して協議する機関（学校運営協議会）を置く。

**亀田** 平成27年6月に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」で地域力強化の観点から全公立小・中学校において、コミュニティ・スクール等の取組を一層促進するとの方針が示され、同年12月の中央教育審議会の答申で、全ての公立学校においてコミュニティ・スクールを目指すことされた。

本県でも平成28年4月に十和田市が中学校1校、小学校2校をコミュニティ・スクールとしている。これらを踏まえ、学校運営協議会制度の導入について町の考えを伺う。

また、全ての公立学校においてコミュニティ・スクールを目指すとの国の方針が示されているが、町としてどのような計画、方針を立てて工程を進めるつもりか。

**町長** 学校運営協議会を設置し、学校、家庭及び地域が抱える課題を地域ぐるみで解決し、児童生徒の健やかな成長と質の高い教育を実現させようというコミュニティ・スクールは、導入に際して解決すべき課題があり、全国的にも1割を越えたばかりである。

現時点では導入を考えていないが、今後、社会情勢の変化等を受け、学校、家庭、地域住民から制度導入の要望があれば対応したい。

## 文化財の保護と管理について

**亀田** 平内町教育委員会が行っている文化財巡回パトロール事業で「遺跡等の所在を知らせる看板が少なく、町民または観光客に対するPRができない」「埋蔵地について看板未設置で道路整備もされていない場所も多い」とある。

これら文化財について観光資源化が可能なものから順次看板や標識等を設置し、またデータベースにも所在地図情報、現地景観の写真情報を取り入れて管理しやすく、観光情報、教育情報として提示しやすくしてはどうか。これら文化財の保護と管理の今後の方向性、見通しなど、町の考えを示していただきたい。

**教育長** 現在、県史跡の「藩境塚」、国指定の「小湊のハクチョウ及び渡来地」「ツバキ自生北限地帯」を活用したソフト事業を中心に文化財の適正な保存管理に努めている。

埋蔵文化財のほとんどは包蔵地が民有地となっているため、現時点では看板の設置、道路整備等は困難だが、今後は埋蔵文化財の保存、活用にも目を向け、観光振興にも活用できる方法を考え、実施できるものから取り組んでいきたい。



小笠原智鶴子 議員

# 国道、県道の雑草・雑木の 伐採を

町長/国・県へ要望する



雑木伐採後の法面



雑木の伐採が待たれます

## 国道4号沿い

**小笠原** 県内外から訪れるには、国道4号が主要道路であるが、特にこの季節は車道と歩道とのつなぎ目などに雑草が目立ち、決して良い風景ではない。教育委員会の生涯学習課が花壇を設置しているが、効果が半減しているように見える。

この通告後、9月2日より浜子に入る国道4号沿い高架橋の法面の雑木が伐採され、交差点の見通しが良くなった。感謝申し上げたい。ただ、この交差点向かい側の法面の雑木も道路がカーブになっているため、見えにくくなっているのを併せて対処していただきたい。

**町長** 青森国道維持出張所に確認したところ、雑草処理を大規模におこなうのは年1回で、時期的に夏祭り期間に合わせて国道沿線すべて実施しているとのことである。ただし、それ以外の時期は要望があれば必要に応じて対応するとのことである。

## 景観を活かせ 県道夏泊公園線沿い

**小笠原** 県道夏泊公園線も道は良くなってきたが、雑草や雑木で良い景観がみられないという話も聞かれる。今はSNSなど情報が瞬時に広がるので、観光客から町の良さを発信してもらえる機会が増えるよう整備をしていただきたい。

**町長** 県道夏泊公園線は県に確認したところ、春と秋の年2回、雑草や雑木の処理をしているとのことである。県も国同様に、要望があれば個別に対応していくとのことなので、見通しが悪い箇所などは、県へ情報提供をおこないたい。

**要望** これらの場所にかかわらず、信号機のない交差点の見通しがどうか。さらには、浜子旧操車場跡地の雑木が青い森鉄道に入り込んでいないか、調査が必要である。前定例会での取付道路の件と並行して、町有地のあるべき姿を整備してこそ、有効に活用する手立てが見えてくるのではないかと。

町全体で意識を高めていくことを期待したい。

※SNS ソーシャル・ネットワーキング・サービス  
インターネットを通じて人と人のつながりを支援する会員制サービス。電子掲示板やメッセージの送受信でコミュニケーションを図る。「ツイッター」「フェイスブック」などがある。

# 危険多い夏泊公園線

## 早期の対応を



田中 茂勝 議員

町長/重要路線 再度強く要望する



### 県道9号・夏泊公園線 道路危険箇所の早期改修を

**田中** 立石洞窟から南側の坂道は、路肩が約10メートルに渡って土砂崩れし、ガードレールの支柱は、宙に浮いた状態で機能を果たさず危険な状況だ。これ以外にも、弁慶内と白砂間の2カ所で法面の崩落箇所と落石箇所、稲生～浦田間でも土のうを積み上げての片側通行箇所や、道幅の拡幅工事が停滞している。

夏泊公園線は、町の基幹産業であるホタテ運搬や夏泊半島の観光、スクールバスの通学路でもあり、各集落圏をつなぐ唯一の生活道路である。町は安全確保のため重要な要望事項と位置づけ、県当局に強力に働きかけ、早期の改修と完工を図るべきだ。

**町長** 昨年8月の大雨により、立石付近の道路路肩、白砂漁港入口付近の道路法面の崩壊などが発生し、通行に支障をきたしている。

現在は、県による応急対策として、大型土のうなどを設置している。町としても、県道夏泊公園線は観光や物流などの重要な路線であると考えているので、指摘の危険箇所は、県には既に要望済みであり、現在、現地の調査等を行っているとの回答を頂いた。ただ、片側交互通行や幅員が狭い場所など、通行に支障箇所もあることから、調査結果を踏まえ、速やかに工事に着手すべく、再度強く要望する。

### 平内校舎閉校、影響と対策は

**田中** 青森東高校平内校舎は、平成33年3月に閉校予定と県教育委員会が発表した。平内校舎閉校により、町への経済的な影響とその対策は。高校進学者が町外へ通学する際の交通体制、閉校となった場合の空き校舎の活用方法についての考えを示していただきたい。

**町長** 青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画により、青森東高校平内校舎は、平成31年度募集停止、平成32年度末閉校と決定された。現在の平内校舎は定員を大幅に下回り、全校でも63人であり、町内のコンビニや商店に若干の影響はあるが、全盛時代と比べ大きな経済的な影響はないと考えている。通学の交通体制は、ここ数年、9割以上の管内の中学校卒業生が町外に進学しており、青い森鉄道のダイヤ改正に合わせ、通学生が利用する町民バスのダイヤ改正を実施している。スクールバス運行などは考えていない。計画通りに閉校となった場合の空き校舎及び敷地の活用方法は、さまざまな方面に配慮しつつ、県教育委員会へ働きかけていく。

### Jアラートの対処方法は

**田中** 8月29日、サイレンと共に北朝鮮からのミサイル発射と避難場所について防災無線にて放送された。今後、再度の発生もあり得るので、町民の避難方法や対処方法の周知、避難施設の指定や避難場所の設置についての見解を伺う。

**町長** 全国瞬時警報システムは、国から発令された警報を、人工衛星を介し各自治体の無線を自動的に起動し、音声で各住民に通達するものである。

当町での避難行動は当面屋内に避難するなど限られた時間の中で、自身の身を守ることが最優先行動となるが、今後、地域の実情に合った避難先の確保や避難方法など、今回の件を踏まえ、改めて県などとの協議が急務と考えている。また、町民に対しては、対処方法をホームページで公開しているが、あわせて、町広報誌での周知や希望する町内会へは、避難訓練の実施などを考えている。

視察研修報告

## 民間病院の事業運営を学んで

7月13日に「民間病院の事業運営の手法を学ぶ」を目的として、愛知県碧南市 医療法人愛生館 小林記念病院を視察してきました。



### 病院の概要と運営

小林記念病院は、平成6年に一般病床と慢性期病床を整えたケアミックス型病院として地域医療を開始しました。その後の医療需要の変化で一般病床34床、地域包括ケア病床45床、回復期リハビリテーション病棟60床、医療療養病棟57床の合計196床で運営されています。

また、介護施設も有し、訪問看護ステーションをはじめ、老人保健施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、小規模多機能施設も運営しています。



「愛生館フィロソフィ」を作成し、理念である“全従業員の物心両面の幸福を求めると同時に、質の高い医療と手厚いサービスを通して人々の人生をより豊かにすることを実現”すべく、日々の医療を行っています。

また、年1回経営計画発表会を開催し、各部署の目標の明示、個人の習慣作りや目標管理に活用する「ベクトル」なる本を全職員に配布し業務に活用しています。

### 「よろず相談窓口」で連携

在宅・居宅高齢者の軽度救急医療への入院受け入れ窓口として、“よろず相談窓口”を開設しています。専用電話でかかりつけ医師、地域のケアマネジャーから相談を受け、医療入院の適用を判断し一般病床・地域包括ケア病床で入院受け入れを実施しています。

“よろず相談窓口”経由で入院される患者の中には病床を使った緩和ケア・看取りとせざるを得ない場合もあり、医療療養病床の長期入院が可能である特性を生かし、対応していました。

### 仕事しやすい環境づくりへ

職員が長年勤務できる環境を作るために、育児や介護休暇の整備や勤務体系の見直しだけでなく、業務改善による効率化や他業種との連携など幅広い改善を実施しています。

ライフステージにあわせた多様な勤務形態を導入したことで、離職率の低下、さらに負担軽減のために実施した他業種との業務支援が、患者サービスにも繋がっているとのことでした。

医療法人全体としては、人事評価の導入、職員自らが学び成長した報告と評価の場としての学術大会の開催、海外研修の実施及び報告会、地域交流としての夏祭りの実施、職員旅行・サークル活動への助成を実施していました。

### ～視察後の感想～

小林記念病院は経営方針として、医療と介護との連携・人事の重要性（人材確保・教育→育成）及び地域密着事業（地域交流イベント、認知症カフェ、清掃奉仕活動）等を実施しており、それが発展の理由ではないかと感じました。

職員のやる気を引き出すために、病院の予算で慰安旅行を実施するなど福利厚生も充実している点には驚きました。また、医師確保には民間の紹介会社の活用や、大学病院と院長との関係が重要であり、町及び平内中央病院としても、大学病院との連携の仕方や経営意識の必要性を感じました。

# の活動

## 総務福祉常任委員会

### 所管事務調査

8月28日(月)に、町有施設の管理状況等について所管事務調査を実施しました。

旧内童子小学校と旧東栄小学校では、共に有効活用され、将来に向けての適正管理がなされていました。

また、企業誘致に向けた旧浜子操車場跡地では、6月第2回定例会で議決された取付道路と水道管布設工事予定地を確認しました。



旧東栄小学校舎 救急物資・食料保管所



旧内童子小学校舎

統廃合小学校の資料館へ 旧狩場沢・東栄・内童子浅所・東田沢・土屋小学校



旧浜子操車場跡地 取付道路用地

## 議会報告会を開催します

### 初の試みです～



他議会の議会報告会の様子

議会活性化特別委員会は、7月6日に第1回委員会を開催し、月2回のペースで開催しています。

第1回目の委員会開催時に、全委員より無記名で現在の議会にどのような課題があるのかアンケートをとりました。その結果を基に、どの課題から取り上げたらよいのか話し合った結果、まずは地域での議会報告会の開催について、話し合うことになりました。

6人の委員により、議会報告会の開催案を練り、

11月8日(水) 午後6時～	同日 開催です
山口コミュニティーセンター 清水川コミュニティーセンター	
11月9日(木) 午後6時～	
勤労青少年ホーム	

※1人1会場とさせていただきます。

9月13日に全議員に詳細を報告し、賛否をとった結果、開催の運びとなりました。

本会議や常任委員会、特別委員会の内容や活動の状況などを説明するために、「議会報告会」を開催します。議会として初めての試みであり、不手際な点もあろうかと思いますが、多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

(町議会活性化特別委員会より)

# 追跡 No.2 あの質問はどなった？

## 観光地のトイレの改修を (平成28年9月議会)

**質問** 椿山ビーチハウスのトイレは便槽が漏水して、使用できず、しかも外壁から雨水が入るなど老朽化が著しい。また、大島・椿山地区の公衆トイレは便器や手洗いの蛇口、ドアも開閉不良がある。

**県に要望する**

**答弁** 県が設置し、町管理の委託契約を結んでいるので、早めに県に改修を要望していく。

現在は



## 白鳥ドリームパーキングトイレの通年開放へ (平成28年9月議会)

**質問** 間木地区の県道バイパス沿いの白鳥ドリームパーキングは、冬期間に除雪されず閉鎖されている。

利用者からは通年開放の要望が多い。必要性は大であるので要望に応えていくべきだ。

**早急に県へ申し入れる**

**答弁** 早急に県へ通年で使えるように申し入れた。

現在は



通年解放になりました

-第4回-

### おらほの サークル紹介シリーズ

#### どんぐりコーラス

**取材者** 設立はいつですか？  
**会長** 当初のサークル名は、『童謡を歌う会』でしたが、2007年(平成19年)6月から現サークル名で活動しております。

**取材者** 現在の活動状況はどうですか？  
**会長** 毎年4月から6月までの第1・3火曜日に勤労青少年ホーム音楽室で練習しています。指導者とピアノ伴奏者を青森市内の方をお願いしております。現在は、会員19名で、会費・年間6000円。10月の町民文化祭でのお披露目、12月の平内中央病院でのクリスマスコンサートでも歌っています。



ハライ！  
お腹から声出して  
腹式呼吸は静の  
スポーツですよ

**取材者** 今後の抱負を教えてください。  
**会長** ボランティアで各種団体合や施設などに出向いて、歌声を響かせたいですネ。

**取材者** 議会や議員への一言をお願いします。  
**会長** 機会があれば、議会の傍聴に行きたいですネ。

**取材者** ぜひとも傍聴にきてください。ありがとうございました。

※広報編集特別委員会では、皆さんからの掲載記事を募っています。議会事務局までご連絡ください。

# 「子ども議会」を開催

夏休み中の8月2日（水）に小・中学生14人による子ども議会が開催されました。佐々木梨乃さん（小湊中学校3年）が議長を務め、小学生7人、中学生6人の議員が、真剣なまなざしで一般質問をおこないました。

町の身近でかつ、鋭い視点で捉えた質問内容に町長からは実行に移すとの前向きな答弁があり、有意義な時間を共有しました。

今後の活躍を期待します。



議長の大役を果たした佐々木梨乃さん

## 【質問議員とその概要】

学校名・氏名	質問の概要	学校名・氏名	質問の概要
 (小湊小学校) 逢坂 瀬莉	・ゲリラ豪雨、大雨による冠水、洪水被害への対策について	 (小湊中学校) 船橋 誠也	・清水川の漁港からのにおいの改善について
 (小湊小学校) 大森 竜斗	・夏泊ほたて海道トンネルマラソンの活性化について	 (小湊中学校) 八重樫彩音	・商店街の活性化について
 (小湊小学校) 佐々木 駿	・平内産ホタテをブランド化するために	 (西平内中学校) 逢坂 匠	・観光客をもっと気持ちよく迎えるために
 (山口小学校) 今 楓花	・西平内駅を快適に利用するために	 (西平内中学校) 今 雪奈	・ほたて広場で行われるイベントについて
 (山口小学校) 豊島 遥大	・陸上競技場の整備を	 (東平内中学校) 木立 匠	・平内をより有名にするためのPR活動について～特産物や動画投稿サイトを利用
 (東小学校) 荒川 遥佳	・今後の中学校の合併の予定について	 (東平内中学校) 澤田 誠一	・平内町の冬期の通学路の整備について（防護柵の増加やイベントの開催を通じて）
 (東小学校) 今 翔	・口広地区の除雪の充実について		

子ども議会終了後の記念撮影時は緊張がほぐれたのか、笑顔がみられました。

☆小・中学生14人の議員のみなさん、お疲れさまでした。

# 議会日誌から

## ▶▶▶ 8 月 ◀◀◀

- 1日 広報編集特別委員会
- 2日 子ども議会
- 7日 議会運営委員会 第1回臨時会
- 8日 議会活性化特別委員会
- 9日 広報編集特別委員会
- 15日 平内町成人式 ひらない夏まつり
- 18日 議会活性化特別委員会
- 28日 総務福祉常任委員会所管事務調査
- 29日 一般質問通告締切日

## ▶▶▶ 9 月 ◀◀◀

- 5日 議会運営委員会
- 6日 議会活性化特別委員会
- 8日 第3回定例会開会
- 9日 ひらない敬老まつり

- 11日 本会議・一般質問
- 12日 決算特別委員会
- 13日 決算特別委員会
- 14日 各常任委員会
- 15日 本会議・閉会 広報編集特別委員会
- 17日 ほたての祭典2017
- 21日 議会活性化特別委員会
- 27日 広報編集特別委員会
- 29日 県町村議会議長会 理事会

## ▶▶▶ 10 月 ◀◀◀

- 4日 議会活性化特別委員会
- 5日 平内町社会福祉大会
- 11日 広報編集特別委員会  
青森地域広域事務組合議会定例会
- 12日～13日 東郡町村議会議長会  
議長・副議長研修視察
- 17日 広報編集特別委員会
- 18日 議会活性化特別委員会
- 24日 経済文教常任委員会所管事務調査

西平内中学校体験学習の様子



## 議会の傍聴

日程は変更されることもありますので、議会事務局（755）2119へお問い合わせ下さい

### 平成29年 第4回定例会の予定

あなたに 町の未来が 見えてきます	12/11(月)	開会・本会議 議案上程
	12/12(火)	休会
	12/13(水)	本会議 一般質問
	12/14(木)	各常任委員会
	12/15(金)	本会議 採決・閉会

### 編集後記

町民の方から「もっと早く発行できないか」との問い合わせがありました。

当委員会としても懸案事項でしたが、遅くとも定例会終了後の翌月第4週（水）発行日を目指していきます。また、町民が読みやすい紙面へ、創意工夫をし、構成、

編集していきたいと思えます。循環型（キャッチボール）の紙面へ。

タメになる「ひらない議会だより」へ、みなさんからの様々な意見を参考にしたいと思えますので、ぜひともお寄せください。

田中光弘

### 議会広報編集特別委員会

委員長	田中 光弘
副委員長	太田 満則
委員	田中 大
委員	小笠原智鶴子
委員	亀田 弘徳
委員	田中 茂勝



発行／青森県平内町議会  
編集／議会広報編集特別委員会

〒039-3393 青森県東津軽郡平内町大字小湊字小湊63  
TEL：017-755-2119  
ホームページ：http://www.town.hiranai.aomori.jp/